

# 増田俊男の『愉快な暴言』 2026年2月20日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

## 世界最大の対外債務国アメリカ(ドル)は何故対外債権大国の日本(円)より強いのか

下記は「増田チャンネル」(無料インターネットセミナー)の概要です。

「債権者は債務者より強い」のが常識である。  
トランプ同様アメリカにこの常識は一切通用しない。

対米債権国の一番は日本で1.1兆ドル、二番は中国で7,000億ドルである。  
アメリカの債務総額は38兆ドルで、財政は恒常的赤字で黒字になる可能性は全くないからアメリカは潜在的財政破綻国家である。  
では何故円を初め他の主要通貨に対してドルの高値が続いているのだろうか。  
事実上不良債権である米国債が今なお世界中で買われているからである。  
いや「買わされている」と言うべきだろう。

皆様が誰かに100万円貸して手形の返済期日になると、もう200万円貸して下さい、そうすれば100万円は返済し、残りの100万円で何とかご迷惑を掛けないよう頑張ります。200万円借りられないと不渡りになってしまいますのでなんとかお願いします。  
こう言われると、不渡りされると取引銀行の信用を落とすばかりか、帳簿上損害が発生するので仕方がないので200万円貸すことになる。  
200万円の期日が来ると、又返せないで300万円貸してくれ、、、これが続いてとうとう不渡りされたら貸している方が命取りになる金額まで貸付け、仕方がなく言われるままに貸し続けることになる。  
カネを貸し続けているのは日本その他の対米債権国であり、カネを借り続けているのは債務国アメリカである。  
アメリカは元より戦略的に借りたカネを返すつもりはさらさらない。  
もしアメリカが不渡り(債務不履行)をする場合は、アメリカは借り続けてきた膨大な金額を返済する必要がなくなり、ゼロからスタート出来るが、貸した方の国は膨大な額の損を抱えたままでスタートしなければならなくなる。  
だからアメリカは借りて、借りて、借りまくるのである。  
その結果を示しているのが下図である。

アメリカの対外債務は対外債権総額に匹敵するほど大きく、しかも増え続けている。

対米債権の名のもとに債権国は債務国アメリカに有り金を永遠に吸い取られ続ける構図になっている。

財政的見地からすれば現在もこれから債務王のアメリカはリスク無しで強く、債権王の日本はリスク爆弾を抱えていて弱い。これが俗にいう「債権の罫」である。

さあ皆様、ドルと円とどちらを買いますか？

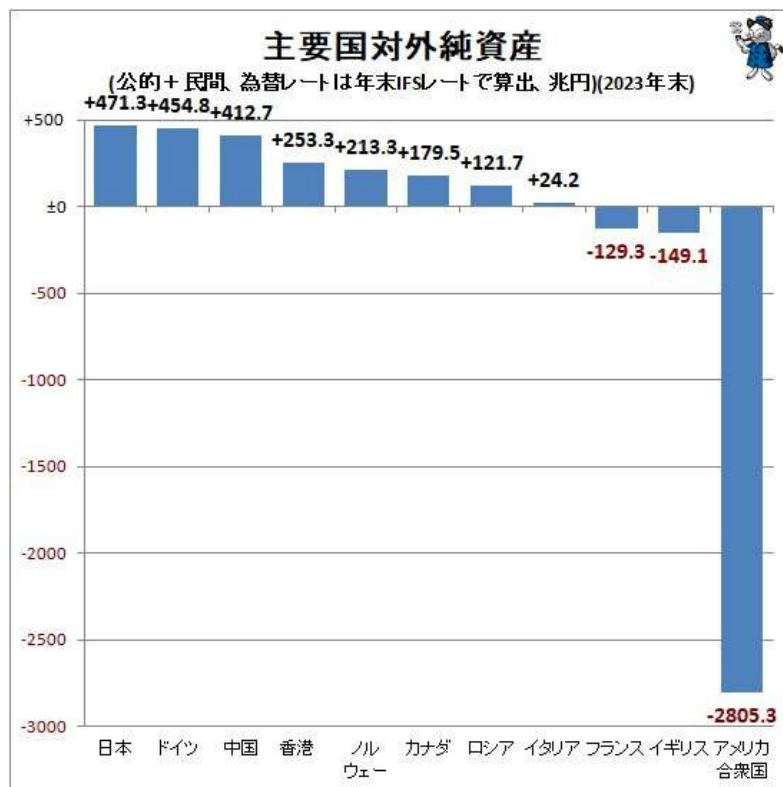
常にドルが円より高いわけが分かりになったと思います。

奪う国の通貨は、奪われる、あるいは与える国の通貨より強いのです。

「日本は神の国」と言ってもらって慰めにするしかないのかも。

アメリカも日本も人間性のかげりもない資本主義（カネが価値）の世界に存在しているのだから、たまにはカネ（資本）から見た「日米関係の真実」を知るのもいいのではないかと。それにつけても私の「小冊子 Vol.156」を是非お読み下さい。

※増田俊男の小冊子 Vol.156 先行受付中！お申込みは、<https://www.musriec.com/>



### 大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」 いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）  
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。